

統合科目	歯の解剖学
------	-------

《担当者名》歯学部教授 / 建部 廣明

【概要】

歯の形態学的特徴とその異常、歯列や咬合に関する基礎知識を整理する。

【学修目標】

歯の解剖学で学んだ知識の再確認と整理を通して、歯の形態、歯列や咬合に関して臨床でも応用できるよう理解を深める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	永久歯の形態と特徴	歯の交換と生歯について学ぶ。 歯の内部構造および根管の分岐、側枝を学ぶ。 教科書P.78-81 Mühlreiterの三徴（隅角徴、湾曲徴、歯根徴）を 学び、歯の近遠心の見分け方を習得する。 教科書P.81-82	建部 廣明
2	特色ある歯の形態	典型的な形態とは異なる形状を示す部位の名称とその 形状が好発する歯を整理する。	建部 廣明
3	特色ある歯の形態（復習）	歯数の過剰・不足の出現部位を整理する。	建部 廣明

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験（筆記試験）100%

【教科書】

「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【学修の準備】

1年次の授業で用いたプリント冊子に目を通し（60分）、授業の際には持参すること。

【実務経験】

建部 廣明（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験をもとに、臨床に生きる講義を実践している。